



同時発表先：三次記者クラブ

令和8年1月7日

無人化施工で挑む、建設現場の最前線 ～高校生を対象に建機遠隔操作見学会を実施～

河川工事現場にて、地元高校生を対象とした見学会を開催します。

本見学会は、ICT建機の遠隔操作見学です。地域の未来を担う高校生にデジタル技術を活用した「カッコよく、安全で、スマートな土木」の魅力を見学してもらいます。

1. 場所：三次市三次町 河川工事区域内(願橋付近) (別紙 参照)
2. 日：令和8年1月14日(水)13:30～15:00
3. 工事現場：施工者 (株)加藤組
4. 参加者：三次青陵高等学校 2年生 約12名

<問い合わせ先>

国土交通省三次河川国道事務所

副所長(河川)

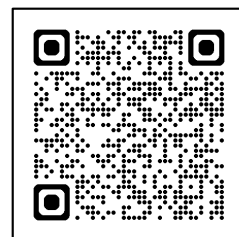
【担 当】河川管理課長

【現場担当】吉田流域治水出張所長

<三次河川国道事務所WEBサイト>

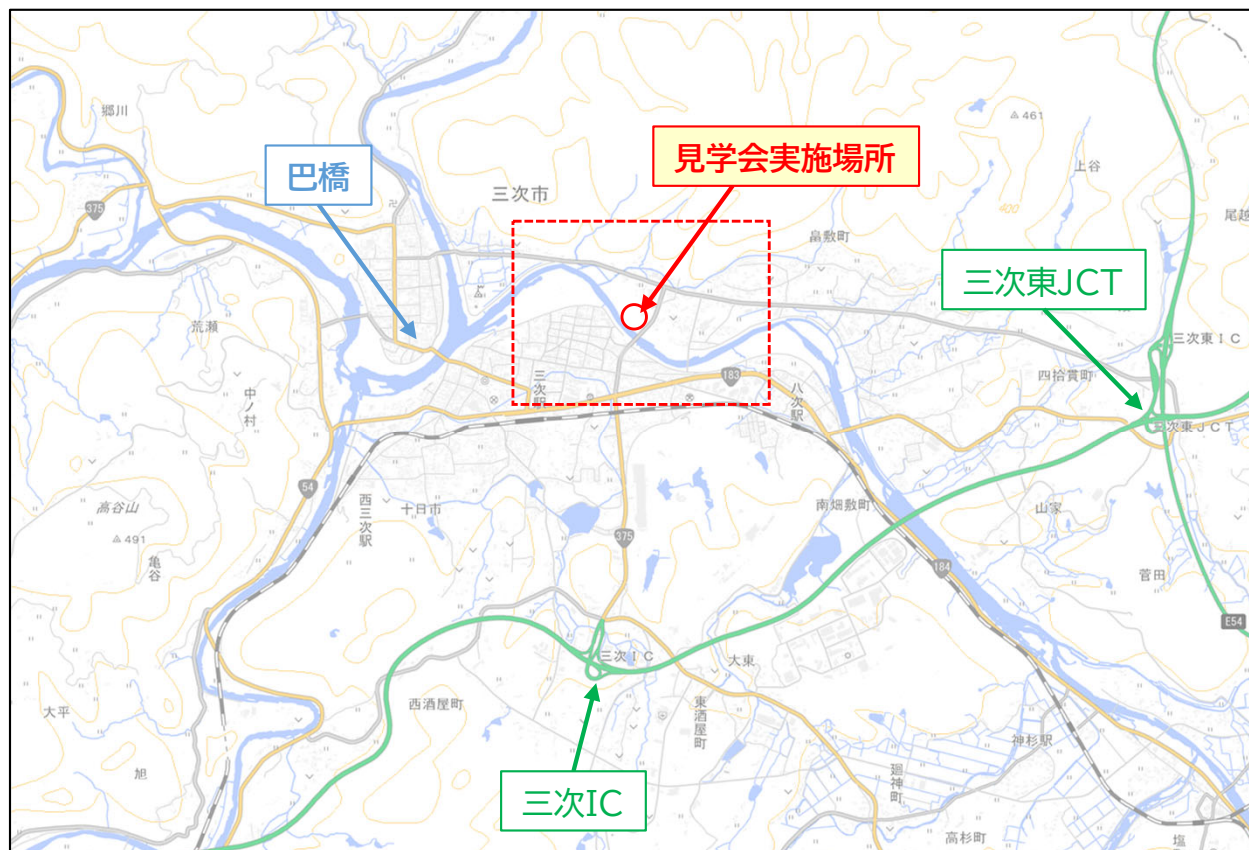
<https://www.cgr.mlit.go.jp/miyoshi/>

かわむら あきら
河村 昭
もりわき ひさし
森脇 央
なかど まさゆき
中土 正之



三次河川国道事務所
X二次元バーコード

実施場所(広島県三次市三次町 馬洗川高水敷)



拡大地図



◎見学会のポイント

DXの最終形(3段階)のステージ2:遠隔操縦状況を見学し、未来の建設現場のロボティクス技術を体感します。

災害時の切り札として: 人が立ち入れない危険な災害現場でも、離れた場所から安全・迅速に復旧作業ができる「地元の守り手」としての意義を伝えます。

◎見学会の内容

従来の「コックピット型」ではなく、VRゴーグルを通じてのメタバースなどで、若者に馴染み深い「無人ロボットコントローラー(※RBTリモコン)」を採用。

巨大重機の操縦席から見る建設現場のロボティクス技術を高校生に体験してもらいます。



【遠隔操作見学会のイメージ】